



Q 組織の結集で園芸振興を
A 組織的取り組みは有効

難波俊司議員

これまでいろいろな作物が奨励され、生産の拡大が図られたが、目的達成に至っていません。

しかし、野菜・農産加工品を中心とする「産直」販売は、大きく伸びています。

本町も、この流れに乗っていくことが大事でありますが、個々の生産者での規模拡大、生産増大は、資金、労力、販売等の面から限度があります。

恵まれた中山間地の環境や風土を生かし、他産地に對抗して行くには、集落営農組合、各生産グループ、企業等の連携による推進組織が重要と考えます。生産拡大についての考えは、

山崎英樹町長

個々の農家での生産は、高齢化などにより、規模拡大は限界があります。

園芸部門について、各団体が組織的に取り組んで行くことは、今後の振興方策として有効なものと考えます。

生産拡大には、①各品目ごとの指導者の配置、②施設についてはリースハウスなどによる初期投資の軽減策などの工夫、③J A・里山コミッションなどによる販売先の確保などの販売支援が大事であり、県・J A・町が一体となって振興することが基本です。



Q 原木キノコ栽培に本腰を
A 魅力ある商品として支援

難波議員

本町は、森林セラピー基地に認定されたすばらしい山林、地域であります。

広葉樹林の適期伐採による美林形成や有効利用のためにも、椎茸などのキノコ栽培は、国産嗜好もあり魅力ある特産品です。本町の豊かな山林、気候、

風土を生かしたキノコ栽培に町として本腰をいれるべきでは。

山崎町長

原木栽培は、有望な林業振興の分野です。魅力ある商品とするために、生産組合などの関係者にも考えを伺い、応援していきます。



宇山の共同ほだ場

12月定例会
町政を問う
一般質問

平成19年度
決算審査
特別委員会

報告書

決算審査特別委員会から審査結果が報告され、賛成多数で「認定」されました。
なお、報告書には、次の審査意見が付けられました。



長谷長命園（薬草園）を視察

【審査の意見】

- 1 交付税等の財源の減少及び町債償還額の増加により、実質公債費比率は県内トップの26.9%となった。このままの高い数値が推移すれば、「財政健全化法」に基づく早期是正措置団体の指定を受ける可能性もあり、引き続き行政改革への積極的な取り組み、徹底的な歳出の抑制を行い行財政の健全化に取り組まれない。
- 2 各種税及び料金等の滞納整理は、現年度分については、徴収の努力により収納率は向上したが、過年度分については、実情を把握した対応や措置を講じる必要がある。今後とも鋭意収納に努力されたい。
- 3 誘致企業の株式会社サブロ島根には、鋭意営業努力されているが、平成19年度に資金不足により運転資金3,000万円の貸し付けを行った。現在会社の状況は、当初計画した販売目標及び販路拡大が低迷しており、また町が工場建設予定地として平成17年8月に契約した土地は、平成21年8月までに工場を建設するとの約定になっている。
町は株式会社サブロ島根の実情を調査し、残余期間のうちに建設予定地のしかるべき利用方法を判断すべきと考える。
- 4 頓原簡易水道拡張事業は平成19年度に敷波浄水場造成工事及び配管工事が敷波地区外3ヶ所で施工されている。現在計画されている事業は、平成25年度を目標に進められているが、それぞれの工事完成後は1戸でも多くの加入に努力されたい。
- 5 衛生費の健康診査は年1回実施されている。高齢化が進むなか、保険予防が必要と考えられるのに受診率が極めて低い。
今後、体制の充実及び関係機関と連携を図りながら「まめなまちづくり」に努力されたい。
- 6 飯南病院及び来島診療所は検診・一次医療の強化を図り、住民により身近な医療機関となるよう努め、まず町内の医療機関に足を運んでもらえるよう努力しなければならない。
また、町外の病院から退院時に町民の引き受け先となることが望まれており、平素より町民の拠り所となるよう、一層努力されたい。



敷波浄水場を視察